

## 市民ファシリテーターの養成について

### 1 目的

まちづくりには多様な考えを持つ住民の声を引き出し、声を聴き、その声を受け入れ、その多様性を理解し（対話をする）、それらを合わせて新たな方向を見つけ出すことが今後のまちづくりにおいて非常に重要である。

対話の場をより充実させるため、住民自らがファシリテーション能力を身につける場を提供し、まちづくりへの参加を促し、町民参加のまちづくりを目指すものである。

### 2 講座開催実績

令和2年度	令和3年	2月13日（土）	参加者	24人
令和3年度	令和3年	5月22日（土）	参加者	26人
	令和3年	7月17日（土）	参加者	17人
	令和3年	10月24日（日）	参加者	10人
	※9月30日（木） 10月6日（水） に実践の場を実施			
令和4年度	令和4年	10月 2日（土）	参加者	17人
	令和4年	10月16日（土）	参加者	18人
	令和4年	11月25日（金）	参加者	13人（実践の場）
	令和4年	11月26日（土）	参加者	7人

### 3 市民ファシリテーターの組織化

令和3年度養成講座終了後に修了者のアフターフォロー等が必要との認識から組織化を行った。養成講座修了者の希望する方で構成する。

令和4年度から町民活動支援センターの業務として委託。

北海道市民ファシリテータープラットフォームとも連携し、会員の研修の場を確保する。

#### ●活動実績

総合計画審議会専門委員会

ファシリテーター講座実践の場「発達障がいとまちづくり」の開催

#### 4 次年度以降の展望

##### ●養成講座

令和2年度～令和4年度の3年間連続で講座を実施し、ファシリテーターの養成を行った。毎年実施することが必要であると認識しているが、参加者数が20人以下であることを考慮し、次年度以降は隔年で開催していきたい。

##### ●市民ファシリテーター組織の活動

- ・庁内で町民が参加する会議の場への活用について、魅力創造課がPRを行い、対話の場でファシリテーターとして活動
- ・会員同士が対話をし、自分たちで企画するまちづくりに資する活動
- ・町が行うファシリテーター研修において、新たな参加者と講師をつなぐコーディネーターとしての活動